

「第三次川越市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)改定版」 (原案)に対する意見募集の結果

1 結果の概要

- (1)実施期間 令和6年1月4日(木)から2月2日(金)までの30日間
 (2)意見提出者数 7名
 (3)意見提出件数 29件(類似意見集約後22件)
 (4)項目別の意見数

該当する箇所	該当する項目	意見数
計画全体への意見	計画全体	8
第2章 地球温暖化対策実行計画の基本的事項	5 対象とす温室効果ガス	1
第6章 温室効果ガス削減に向けた取組(緩和策)	2 市民・事業者の活動促進	9
	3 地域環境の整備	4
	4 循環型社会の構築	3
第8章 地球温暖化への適応策	2 適応策の方針	3
第9章 計画の実効性の確保	1 計画の推進体制	1
合 計		29

2 提出意見の概要及び市の考え方

No.	頁 原 案	項 目	意見内容	類似 意見	市の考え方
1	130	第8章地球温暖化への 適応策 (2) 治水・水害対策 ①雨水の貯留・浸透対 策の推進	短時間強雨が増加する昨今、流域治水は喫緊の課題であり、川越市においても、市内はもちろん首都圏を含む下流域への洪水リスク緩和のために、雨水貯留・浸透・利用推進への一層の努力が求められます。 日本国内、世界的にも様々な研究や成功事例がありますので、それらを参考に、本市の特性に適した多様な雨水活用を促進する内容に記載を改めてください。		地球温暖化を要因とする気候変動の影響により、各地で豪雨災害が多発する中、雨水対策、雨水の利用を促進することは重要であると考えます。 市民の皆様適切な情報を提供するなど、雨水利活用の促進に向けた啓発に努めてまいりたいと考えます。
2	130	第8章地球温暖化への 適応策 (2) 治水・水害対策 ②雨水利用の普及促 進	雨水に関する補助金は、定型の貯留タンクは多様な雨水収集器具(レインキャッチ・雨水取り出し口ぱっこん・雨葉など)にも活用できるよう改善を求めます。また、雨水浸透に関しても浸透ますの普及だけではなく、雨どいを下水道に直結させず庭の緑と土を通じて地下に浸透させる「雨庭」や、浸透ますを用いない環境土木による雨水浸透を推奨し、こちらにも補助金が使えようにしてください。		現在、雨水の一時的な流出抑制と有効利用を図るため、雨水対策施設設置補助事業を実施しており、浸透型(浸透ます)と利用型(小型貯留槽)の雨水対策施設に補助金を交付しています。 補助金の対象については、他市の事例等を参考に検討してまいります。
3	130	第8章地球温暖化への 適応策 (2) 治水・水害対策 ④防災拠点施設の整 備	「公共施設では、災害時の代替エネルギーとなることも含めて、太陽光発電システム」とあわせ、「代替水源として雨水集水装置、防災井戸」の導入の推進及び適正な維持管理を記載してください。また、東日本大震災および現在の能登半島地震後の断水時に雨水活用へのニーズは高まり、被災後に雨水集水を始める世帯が多いことを踏まえ、レインキャッチなど集水用の簡易な道具を防災備品に含めることも検討してください。		災害時に水資源を確保することは大変重要なことと認識しております。現在整備している防災井戸の適正な管理に努めるとともに、防災備品等の内容についても検討してまいります。
4	96	第6章温室効果ガス削 減に向けた取組(緩和 策) 2市民・事業者の活動 促進 (2)事業所における省エ ネ行動	エコチャレンジカンパニーの広場事業をより広範な効果を期待できるものにするため、次のような運用形態を提案いたします。すでに実行されている取り組みは「率先エコチャレンジカンパニー」として公表します。しかしそれだけでなく、何をしたらよいかは分からないが自身の事業にかかわる範囲で何かに取り組みたいとは考えている事業者のリストを公開します。このリストに名前が載っている事業者を、「まどろむエコチャレンジカンパニー」と位置づけます。ここにリスト化された事業者には市民団体、有識者、コンサルタント等がアクセスし、それぞれの事業者に合った取り組みを共に企画立案していきます。検討の結果実現に至った事例をもつ事業者を「覚醒エコチャレンジカンパニー」と位置づけ公表することで顕彰します。これにより、意識の高い少数の事業者よりも多くの事業者へとすそ野を広げることができるでしょう。		地球温暖化を防止するためには、事業者の自主的な取組が大変重要であると考えております。 市内事業者の皆様地球温暖化対策に取り組んでいただくため、効果的な施策が実施できるよう努めてまいります。
5	97	第6章温室効果ガス削 減に向けた取組(緩和 策) 2市民・事業者の活動 促進 (7)行政の率先実行	学校の省エネ対策として、建物のとくに天井の断熱改修を実施してください。断熱効果のない建物でエアコン設置が進むことで、大量のエネルギーが消費されているにもかかわらず、生徒たちは依然として暑がたい暑さに耐えるよう強いられている場合があるようです。授業の一環として生徒たち自身が断熱作業をDIY感覚で行う事例も広がりつつあるようです。すべての市立学校でこれを行えば、CO2削減に効果があり、電気代も相当節約できるだけでなく、生徒たちの心身の健康にもプラスになるはずです。		学校の断熱改修につきましては、実施することで冷暖房効率の向上が期待できるものと認識しています。改修についても様々な方法が想定されることから今後の課題と捉え、調査研究を進めてまいります。

No.	頁 原 案	項 目	意見内容	類似 意見	市の考え方
6	103	第6章温室効果ガス削減に向けた取組(緩和策) 4循環型社会の構築 (1)家庭における廃棄物(ごみ)対策の推進	東京都国分寺市は、ごみ袋を有料化し、しかも各戸回収することにより、ごみ減量と正確な分別の徹底に大きく前進しているそうです。有料のごみ袋で各戸ごとに出されたごみに限って回収することにより、不正確な分別と区域外住人によるごみ置き場利用を減らすことができるでしょう。この方式は、プラごみや紙ごみのリサイクルの実効性を高める際にも有効でしょう。また、生ごみをはじめとする有機物からなるごみの分別回収と堆肥化という新しい取り組みを実現するためにも効果を発揮するでしょう。		家庭ごみ処理の有料化はごみの発生抑制として効果があるものと認識しておりますが、回収方法など課題もございますので、引き続き、検討を進めてまいりたいと考えております。
7	134	第9章計画実効性の確保 9-1 計画の推進体制	川越市において温暖化対策を本気で達成しようと思うなら、市民、事業者、行政の間の中身のある対話と協働が不可欠です。そのために、かわごえ環境ネットとの協働をより中身のあるものに変えましょう。今直面している課題に対処するためには、かわごえ環境ネット、川越市環境政策課、事業者が、お互いに尊重しつつもお互いのことに関心をもつ必要があります。		かわごえ環境ネットは、「川越市環境基本計画」に基づき、市民、事業者、行政、さらに民間団体がパートナーシップを形成し、それぞれが役割を理解しつつ実行できるよう、協働して行う事業について情報提供や調整を図るための組織として設立されました。地球温暖化対策は、市民、事業者、民間団体、行政のそれぞれが主体となって取り組む必要があり、協働して取り組むことが重要であると考えます。今後についてもかわごえ環境ネットと協働して取組を推進していきたいと考えております。
8	100	計画全体への意見	緑と生物多様性の取り組みについて、市民のパートナー団体である「かわごえ環境ネット」による連携を行い、緑と生物多様性を取り組みしなければならないが、地球温暖化防止のために、緑の政策・生物多様性の取り組みがあまりも少ない。今後の取り組みだけではなく実行にある緑の計画、環境基本計画の調合し、積極的に働きかけて市民の皆さまに協力しながらイベント、生物多様性を理解の促進に進めすべき。		地球温暖化防止と緑の政策・生物多様性の取組は関りがあるものと考えますので、地球温暖化対策実行計画だけではなく、環境基本計画、緑の基本計画を通じて、積極的な施策展開に努めてまいります。
9	—	計画全体への意見	地球温暖化の影響で、ゴミの排出量が増加しており、特に目立つのは事業者によるゴミの排出量でかなり危機感を感じる。川越市は事業者等の団体を通じてゴミの減らす、3Rの推進、パソコン等の電子機器の使用量を減らす取り組みしていただかないと計画全体だけではなく地球温暖化影響を及ぶので対策に実行していただきたいと市民から要望する。		ごみを減量することにより、ごみの焼却に伴う温室効果ガスの排出量を抑制することが期待できます。事業者の皆様にもごみの削減に協力いただけるよう啓発に努めてまいります。
10	103	第6章温室効果ガス削減に向けた取組(緩和策) 4循環型社会の構築 (1)家庭における廃棄物(ごみ)対策の推進	家庭においても事業所においても、大きな割合を占めるのが有機物です。生ごみ、庭の剪定枝、庭草などが大きな体積を占めています。これらは水分を多く含むため燃えにくく、その分燃料を必要としますが、この燃料はたいい海外からの輸入に頼っていると聞きました。有機物は燃やさなくても土に帰るものです。必ずしも燃やす必要がないと考えていますが、それをゴミとせず、資源にするためには仕組みが必要です。有機物からなるごみを分別し、可燃ごみとは別に回収し、堆肥化する事業を川越市で始めることはできないでしょうか。また、埼玉県は畑も多く、堆肥を市内農業者に無料配布するなど、農業支援に繋げることも可能かと思います。	他1件	生ごみ等を堆肥化し、有効に活用することは、ごみ排出量の削減、ごみの焼却に伴う温室効果ガス排出量を抑制することが期待できます。ごみの減量、分別回収について、他市の事例等を参考に、効果的な仕組みづくりに努めてまいります。

No.	頁 原 案	項 目	意見内容	類似 意見	市の考え方
11	100	第6章温室効果ガス削減に向けた取組(緩和策) 2市民・事業者の活動促進 (8)環境教育等の推進	市民が受動的な聞き役に回りがちな講演会やシンポジウムを繰り返すより、市民自身が市政の担い手として問題を捉える機会が増えることを期待します。 欧州や日本でも行なっている市民会議を川越市で行うことはできないでしょうか？近隣では所沢市で行われており、よい手本になると思います。 環境教育を考える上で、興味のない方にも向き合ってもらおうということが大切になってくると考えます。 市長が脱炭素宣言をしたのですから、多くの市民に同じ方向を向いてもらう必要があります。川越市全体が、脱炭素に向かっていくために、市民会議は大きな意味があると考えます。	他1件	市民の皆様には地球温暖化を自分事として捉え、行動していただくことは大変重要であると認識しております。 他市の事例等を参考に、市民の皆様にご協力いただける取組を検討してまいります。
12	99	第6章温室効果ガス削減に向けた取組(緩和策) 2市民・事業者の活動促進 (7)行政の率先実行	断熱効果のない建物でのエアコン設置はエネルギー消費が多くなるため、断熱改修も進めていただきたいです。 学校へのエアコンの導入が進み、とてもありがたく感じています。しかし、夏場は教室が寒くダウンを着ている子を見かけたりもします。省エネ化も大事ですが、設定温度の徹底や現場のフィードバックも必要と感じます。		空調使用時のエネルギー使用量を削減するため、施設の断熱化を進めることは効果があるものと認識しております。なお、公共施設それぞれにおいては、エネルギー使用量削減以外も含め様々な課題がございますので、必要なものから対応してまいりたいと考えております。 また、空調使用時の室内温度の調整につきましては、過度な設定にならないよう徹底してまいります。
13	101	第6章温室効果ガス削減に向けた取組(緩和策) 3地域環境の整備 (2)交通体系の整備	自転車利用の拡大のためには、導線確保が必要と考えます。川越市内を自転車で移動していると、自転車用レーンの少なさ、車優先の道路の作り(わざわざ反対側へ渡らないと先へ進めない、陸橋を渡ることができない箇所があるなど)を感じます。この先、地球温暖化が進み、自転車の利用者が増えることも想定されます。川越市には率先して未来に向けた街作りをしていただきたいです。自転車利用者目線の道路作りを希望します。	他1件	自転車利用を促進するためには、自転車通行空間の整備が重要であると認識しております。今後につきましては、安全で快適な自転車利用環境の充実が図られるよう、他の道路管理者や警察とも連携して、計画的な自転車通行空間の整備を検討してまいりたいと考えております。
14	98	第6章温室効果ガス削減に向けた取組(緩和策) 2市民・事業者の活動促進 (5)緑化・雨水利用の促進	緑化・雨水利用の促進に賛成です。 空きスペースのほとんどをコンクリートで覆う宅地を多くみます。夏の気温が川越市は特に高くなっており、コンクリートはヒートアイランド現象を加速させます。また、川越は内水氾濫の問題も抱えており、コンクリートはこの危険性をも急速に増大させています。 川越市で建物を建てる際、また、現状の建物の緑化を促すような施策はできないでしょうか。	他1件	ヒートアイランド現象の緩和や都市型水害対策において、緑化・雨水利用を促進することは大変重要であると認識しております。 緑のカーテン、苗木配布等を通じて緑化を推進しているところではございますが、市民、事業者の皆様には緑の大切さを啓発し、緑化の促進に努めてまいります。
15	95	第6章温室効果ガス削減に向けた取組(緩和策) 2市民・事業者の活動促進 (1)家庭における省エネ行動	「フードマイレージを小さくする」という目的を実現に、川越産有機食材を用いた学校給食を進めることはできないでしょうか。フードマイレージ削減を市民に呼びかけて実行は個々人の選択に委ねる、というだけでは効果は限定的でしょうが、学校給食ならば安定した需要が期待できます。また、子ども達の健康のことを考えると有機給食はぜひ進めていただきたいです。 今すぐ実現は難しいにはモデル地区のみ、あるいは品目、あるいは実施日を限定する、でもかまいません。まずはどの1歩を踏み出していただきたいです。	他1件	学校給食においては川越農産物の積極的な使用を進めているところでございますが、フードマイレージ削減に向けて効果的な施策につきまして検討してまいりたいと考えております。

No.	頁 原 案	項 目	意見内容	類似 意見	市の考え方
16	102	第6章温室効果ガス削減に向けた取組(緩和策) 3 地域環境の整備 (4)身近な緑地の保全、緑化の推進	雑木林、農地、湧水地の面積をこれ以上減らさないように、従来よりも思い切った財源を確保し、とりうるあらゆる手段を投入していただきたい。緑の保全に関しては、雑木林や農地を保全する必要があります。田畑が住宅に変わっていく姿をよく目にします。それらの土地の売却を持ち主に思いとどまらせる施策をお願いしたいです。また、川越森林公園予定地は市が購入してください。ヒートアイランド現象についてのコラムには共感しますが、現実には、空きスペースをコンクリートで覆う宅地の面積が拡大しており、ヒートアイランド現象の加速だけでなく内水氾濫の危険性も急速に増大しています。住み続けたい環境の実現のためにも、緑の保全への取り組みに力を入れてください。	他1件	近年激甚化・頻発化する自然災害の防災や減災にも役立つ緑を保全することは、私たちの生活にとって大変重要なことであると認識しております。緑を保全するための財源の確保など課題も多くございますが、今ある緑を減らさない取組に努めてまいります。
17	—	計画全体への意見	CO2削減に向けて緊急に取り組む必要性の啓発、強化をしてはどうか。		二酸化炭素排出削減の取組について、必要性を啓発することは大変重要であると考えます。様々な機会を通じて啓発に努めてまいります。
18	—	計画全体への意見	車による通勤、通学等のCO2削減目標、方法を事業所毎に計画し、実効および効果の報告を行うこととしてはどうか。		自動車の使用を抑制することは、地球温暖化対策として重要な取組と認識しております。事業所ごとに計画作成、報告を求めることは難しいものと考えますが、自動車使用抑制のための施策について検討してまいります。
19	—	計画全体への意見	エネルギー使用量を削減するため、商業施設の営業時間を減らしたり、街灯を半分に減らしてはどうか。	他1件	エネルギー使用量を削減するためにエネルギーの使用機会を削減することは効果があるものと考えますが、商業施設の営業時間や街灯の数を減らすことは、経済面、安全面などの課題もございますので実施することは難しいものと考えます。
20	—	計画全体への意見	各家庭で水、照明、冷暖房に使うエネルギー量の削減目標を設定し、実行してはどうか。		地球温暖化対策は行政だけではなく、市民の方に取り組んでいただくことが必要です。市民の皆様に取り組みやすい方法について検討し、周知してまいりたいと考えております。
21	—	計画全体への意見	温暖化対策は、極力農薬や化学肥料に頼らない環境にやさしい農業や土壌の健全化を目指すことが有効な手段と考えます。川越市は幸い、落ち葉堆肥農法で世界の農業遺産として循環型農業で世界に範を示しました。このことを“農業遺産”としてだけに終わらせることなく、持続可能な循環型の有機農業に舵を切る絶好の機会と捉え、発展させ、そして、さらなる農産物のブランド化を目指す絶好のチャンスと考えます。		地球温暖化対策として農業分野での取組も大変重要なものと認識しております。本計画では、環境保全型農業の普及促進も施策として掲げておりますので、普及に向けた取組に努めてまいります。
22	23	第2章地球温暖化対策 実行計画の基本的事項 5対象とする温室効果ガス	一酸化二窒素について、人為的な発生源として、「一酸化二窒素(N2O)298：自動車の走行や、燃料の燃焼、一般廃棄物の焼却等により排出される。」としていて、農業由来のことに全く触れられていない。そして、過小評価しているところは、大きな論点としては問題であると考えます。		農業分野から排出される一酸化二窒素について、国の「地方公共団体実行計画(区域施策編)策定・実施マニュアル(算定手法編)」を基に、排出量の算定に必要な統計資料や排出量の算定方法について研究してまいります。